

海蔵川生物調査

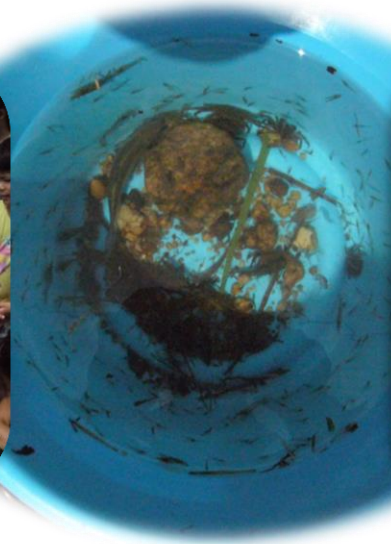
2016. 09. 03

水温は25度で川の水量も多くなく、タモを使ってたくさんの水生生物を捕まえることができました。

特に魚の種類が多く、海蔵川で観察できる種類の半分くらいは見つけることができました。

うみくらの川瀬先生からは、昆虫は、ヤゴから成虫になっているものが多く、7月の時よりも数は少なくなっていることや、コイやカダヤシという魚が増えると、もともと海蔵川に生息している生きものに悪影響があることを教えてもらいました。

午後からは、少年自然家の一泊行事と海蔵川の生物調査についての壁新聞作りに挑戦しました。



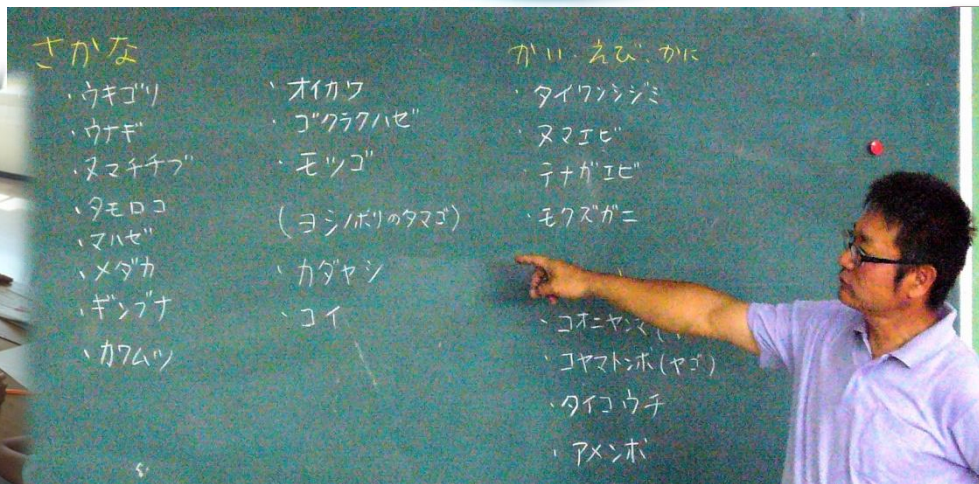
ウナギの稚魚



ゴミを捨てないで



新聞作り



さかな

- ・ウキゴリ
- ・ウナギ
- ・ヌマチチブ
- ・タモロコ
- ・マハゼ
- ・メダカ
- ・ギンブナ
- ・カフムツ

- ・オйкаワ
- ・ゴククワハゼ
- ・モツゴ
- (ヨシボリのタマゴ)
- ・カダヤシ
- ・コイ

かい・まび・かに

- ・タイワソウジミ
- ・ヌマエビ
- ・テナガエビ
- ・モクズガニ
- ・コオニヤマトビ
- ・ゴヤマトンボ(ヤゴ)
- ・タイコウチ
- ・アメンボ



タイコウチ